

No	15									
指標名	手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率									
定義	$\frac{\text{(分子)分母のうち、開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与された手術数}}{\text{(分母)手術室で行った手術件数}}$									
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院 (%)</th> <th>全国中央値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016年度</td> <td>59.1%</td> <td>79.6%</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>70.3%</td> <td>80.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p> (当院)2016年度、2017年度における当院のデータ (全国)2016年度、2017年度に実施した病院の中央値 (2018/04/25 時点) ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。 </p>	年度	当院 (%)	全国中央値 (%)	2016年度	59.1%	79.6%	2017年度	70.3%	80.3%
年度	当院 (%)	全国中央値 (%)								
2016年度	59.1%	79.6%								
2017年度	70.3%	80.3%								
コメント (解説)	<p> 予防的抗菌薬の目的は手術部位感染(SSI)発症率の減少です。 手術が始まる時点で十分な殺菌作用を示す血中濃度、組織中濃度が必要であり、抗菌薬投与は手術開始1時間前以内に開始することが推奨されています。 </p> <p> 当院での投与率は全国中央値のデータと比較して低率となっていますが、実際に抗菌薬を投与する手術場の看護師、麻酔科医による改善の取り組みなどにより、徐々に上昇しています。 </p> <p> 施行率の低い科毎にヒアリングを行い、更なる改善を継続していますが、緊急手術では1時間以内に開始することが困難な場合もあります。 </p> <p> 特定の手術の限定した独自の調査結果では90%以上の値となっております。 </p>									